

幼老複合施設の設置を提言

6月議会川口の一般質問より

幼老複合施設は、保育園や学童保育等の児童福祉施設とデイサービスや特別養護老人ホーム等の老人福祉施設を併設・合築しているような施設を言います。

全国的には増えている幼老複合施設ですが、川越市ではこれまで市として複合整備の検討はしたことがないとのことでした。

幼老複合施設のメリット

- 子どもと高齢者が施設内で交流することにより、高齢者は子どもから元気をもらい、子どもとの触れ合いは行動力も増加するなど**心身の健康や生きがいに繋がる効果**が、子供たちは核家族化の現代にはない高齢者との交流を通して高齢者をいたわる気持ちやマナー、様々な知識が身に付くなどの**社会性や教育的効果**が期待できます。
- 施設を一体的に建設・運営することで工事費や人件費の削減や、既存の施設に併設するなど**財政難の自治体に有効な手段**となります。

幼老複合施設のデメリット

- 子どもを通して高齢者に感染症などが広がる可能性や、高齢者の薬を子供が誤飲するなどの可能性が考えられます。



市長は効果を認識しつつも、今後調査検討したいとの答弁。

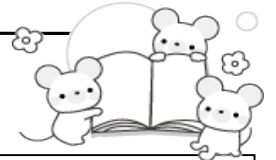
27年度政務活動費報告

(平成27年5月～平成28年3月)

科目	金額	備考
研究研修費	2,500	研修会等参加費
調査研究費	57,120	他市視察費等
資料作成費	273,655	輪転機リース・文具等
資料購入費	113,029	書籍購入費等
広報公聴費	1,738,941	報告書作成・送付費
人件費	0円	
その他	0円	
合計	2,185,245	残額 124816円

政務活動費は、会派（議員）が行う調査研究活動、その他の活動に必要な経費の一部として交付され、川越市議会では議員一人り当たり月7×12ヵ月で年間84万円まで請求できますが、使用範囲はガイドラインで決められ、請求は1円から領収書の提出が必要です。残金は市に返還。領収書原本は議会事務局で閲覧できます。会派ごとの収支報告書は市のHPからも見ることができます。

今まで会派を組んでいなかったため私一人の報告書でしたが27年度からは会派「政晴会」3名の政務活動費報告になりました。



コンパクトシティ・フラス・ネットワークのまちづくり説明会を開催

今後の人口減少と超高齢社会を見据え、暮らしやすく、活力あるまちを持続的に発展させていくため居住や商業、医療・福祉施設等の都市機能の立地誘導について定める「立地適正化計画」と今年度末策定予定の交通に関する様々な施策をパッケージ化し都市・地域総合交通戦略について基本方針等について市民の皆さんの意見をいただくための説明会です。

月日	時間	会場
8月24日	18:30~	市役所 7 B 会議室
8月25日	18:30~	東部地域ふれあいセンター
8月27日	10:00~	西文化会館
9月1日	18:30~	大東南公民館
9月3日	10:00~	南公民館
9月5日	18:30~	高階市民センター

皆さまどうぞご参加下さい。（担当：都市計画部・都市計画課 224-5945、交通政策課 224-5519）